

[都市計画道路の街路樹について]

(ご 意 見) 2012年度最後の第9回相原みちまち推進会議において、3・4・49号線の街路樹について、いくつかの案が出ていて、その後どのように検討が進んだのか。

(市の回答) 市がハナミズキのホワイトラブを選定しました。相原連合町会へは、昨年3月に説明をさせていただきました。ハナミズキのホワイトラブは新種で市内のどこにも植栽されておらず、新しい駅前広場にふさわしいと考え選定しました。

[駅前広場から丸山団地に向かう階段の設置に伴う樹木の伐採等について]

(ご 意 見) 樹木の伐採を考え直せないか。階段より景観が大事だと思う。

(市の回答) 階段の整備は必要だと考えています。工事に影響する梅の樹木は1本を移植、もう1本は剪定を予定しています。また、他の樹木5本は伐採を行います。階段の構造上、どうしても必要となりますので、ご理解いただければと思います。

(ご 意 見) 階段整備を望む人もたくさんいる。また、階段整備をするからには市も安全を第一に考えなければならない。階段工事が終わったら、改めて階段周辺に樹木を植える等の要望を出してはどうか。

[東口・西口まちづくり検討会について]

(ご 意 見) 東口のアクセス路整備は、ルート案3案の決め方や今後のスケジュールを地元へ明確に伝えて欲しい。また、アクセス路の工事中も最低限の生活利便性を確保して欲しい。

(ご 意 見) 町田街道立体化の話が出た当初、大戸方面からの自動車は転回路を利用して東口に入る案となっていた。そのため地元から現在の交差点になるべく近い位置で東口に入れるような道路を考えるべきだという意見が出てきた。また、そうしないと、生活の安全・安心を考える上で最低限の相互通行の道路を確保すべきということから12mの幅員が提案されている。東口アクセス路がなぜ必要なのか地元へしっかりと説明して欲しい。

(ご 意 見) 相原駅周辺は、付近に生活を支える店舗が少ない。これから高齢化社会になると住民は不便になる。将来子どもが親と一緒にこの地域に住んでもらえるようなまちを創るために今から考えていく必要があるのではないか。

[その他について]

(ご 意 見) 本日は地区全体に参加を呼びかけていると思うが、出席者がやはり少ない。それだけ関心がないということだと思う。

(ご 意 見) 街づくりについて住民同士が話しあう機会を町内会等で増やしていくたい。

【問い合わせ先】 町田市 都市づくり部 地区街づくり課
住所 町田市森野二丁目2番22号
電話 042-724-4266 (直通)
担当 高梨・森本

2014年3月

第10回相原みちまち推進会議を開催しました！

第10回相原みちまち推進会議を3月13日(木)に開催しました。相原駅西口の市の都市計画道路の整備の進捗状況と予定、2013年度の地権者の皆さまとの街づくりの検討状況について報告しました。



第10回相原みちまち推進会議について

西口都市計画道路の整備の進捗状況と今後の予定について

西口駅前広場、都市計画道路3・4・49号線（町田街道に接続する南北道路）、3・4・47号線（駅前広場に接続する東西道路）の整備の進捗状況と予定、駅前広場から丸山団地方面に向かう階段整備について説明しました。

東口・西口まちづくり検討会の検討状況について

今年度地権者を対象に開催した相原駅東口、西口のまちづくり検討会の検討内容等について説明しました。（詳しくは中面をご覧下さい。）

東口検討会では、東口アクセス路（町田街道と駅東口を連絡する新しい道路）と東口周辺の土地利用について検討しています。

【ルートについて】

- 市が提案したルート案（3案）に関する意向を伺うとともに、課題が出されました。また、地権者から新たなルート案が示されました。いただいた意見を踏まえ、今後最適なルート案を引き続き検討していきます。

【土地利用について】

- 「今までの住環境の維持」といった意見がある一方で、「道路整備に合わせ見直しが必要」、「将来的な活性化が必要」といった意見があり、今後具体的な土地利用の検討が必要になっています。

西口検討会では、西口周辺の土地利用について検討しています。

【土地利用について】

- 「市の都市計画道路沿道は商売ができる環境を整えておくべき」といった意見があり、用途地域の変更に向けて理解が得られた一方で、具体的な土地利用については、「相原らしさがほしい」、「商業的に発展しないと思う」といった意見があり、引き続き具体的な土地利用の検討が必要になっています。

今年度の東口まちづくり検討会の検討状況について

○検討会の目的

東口周辺は緑豊かな落ち着いた住環境が維持される一方で、町田街道立体交差化事業により相原駅入口交差点がなくなり交通状況が大きく変わるとともに道路が狭いため、土地の有効利用が図りにくい状況にあります。そのため、町田街道立体交差事業等に合わせて、街の将来像について話し合い、その結果を街づくりに反映させるために検討会を3回開催しました。

○東口における主な課題

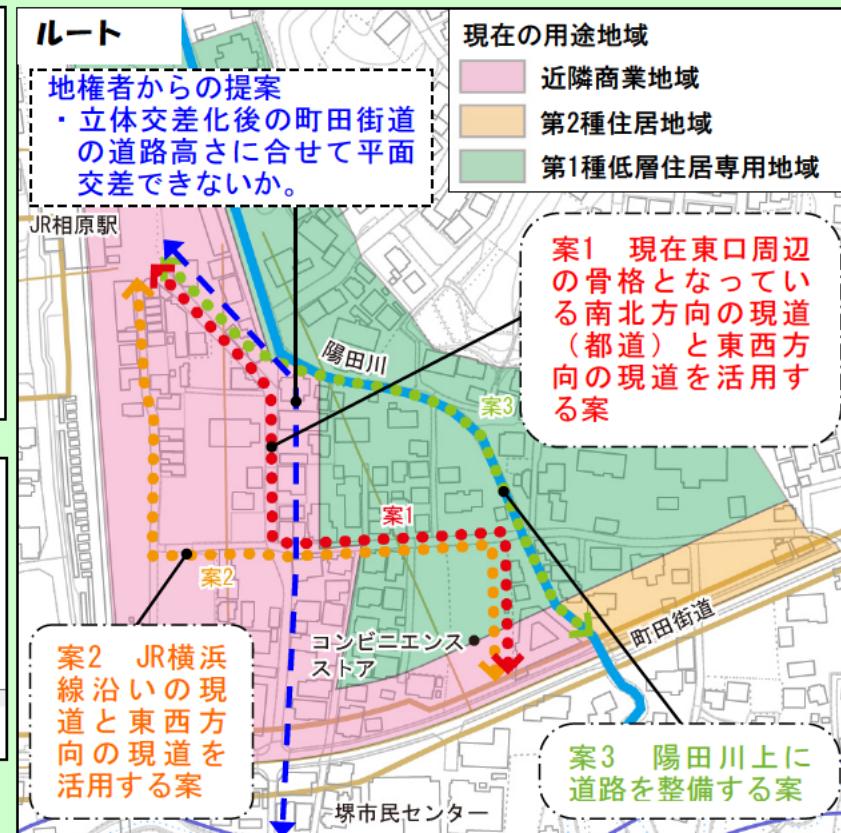
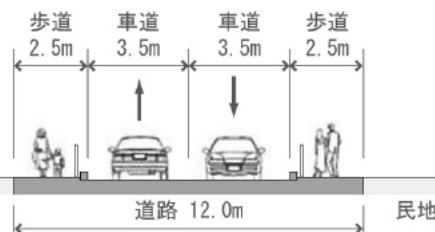
- ・町田街道の立体交差化に伴い、町田街道と駅東口を連絡する新しい道路（アクセス路：目的地へ至る道路の意味）の整備
- ・駅周辺の街の変化に合わせた土地利用の見直し

○東口アクセス路の市の基本的な考え方、幅員及びルートに関する提案

東口アクセス路の基本的な考え方

- ・JR横浜線にできるだけ近い位置で町田街道に接続することが地元にとって利用しやすいと考えています。
- ・駅東口の将来の土地利用を考えると現況道路を活かした整備が良いと考えています。

道路幅員の提案



○検討会における提案に対する主な意見

[東口アクセス路について]

- ・案1は活性化を考えると街の中心に交互通行ができる道路が必要。
- ・案3は豪雨などの災害時に雨水が処理できなくなる。また、貴重な自然環境が失われる。
- ・車道と歩道は分離し、車いすがすれ違える歩道幅員にしてほしい。

[東口の土地利用について]

- ・道路整備に合わせて土地利用も見直す必要がある。
- ・将来的な活性化は必要ではないか。
- ・今までの住環境を維持したい。商業機能は西口で確保してはどうか。

[その他について]

- ・東口アクセス路だけではなく、地区内の狭い道路も整備してほしい。
- ・町内会を対象とした説明の方が多くの参加者が見込める。

○今後の予定

2014年度には、検討会としての案を取りまとめます。

今年度の西口まちづくり検討会の検討状況について

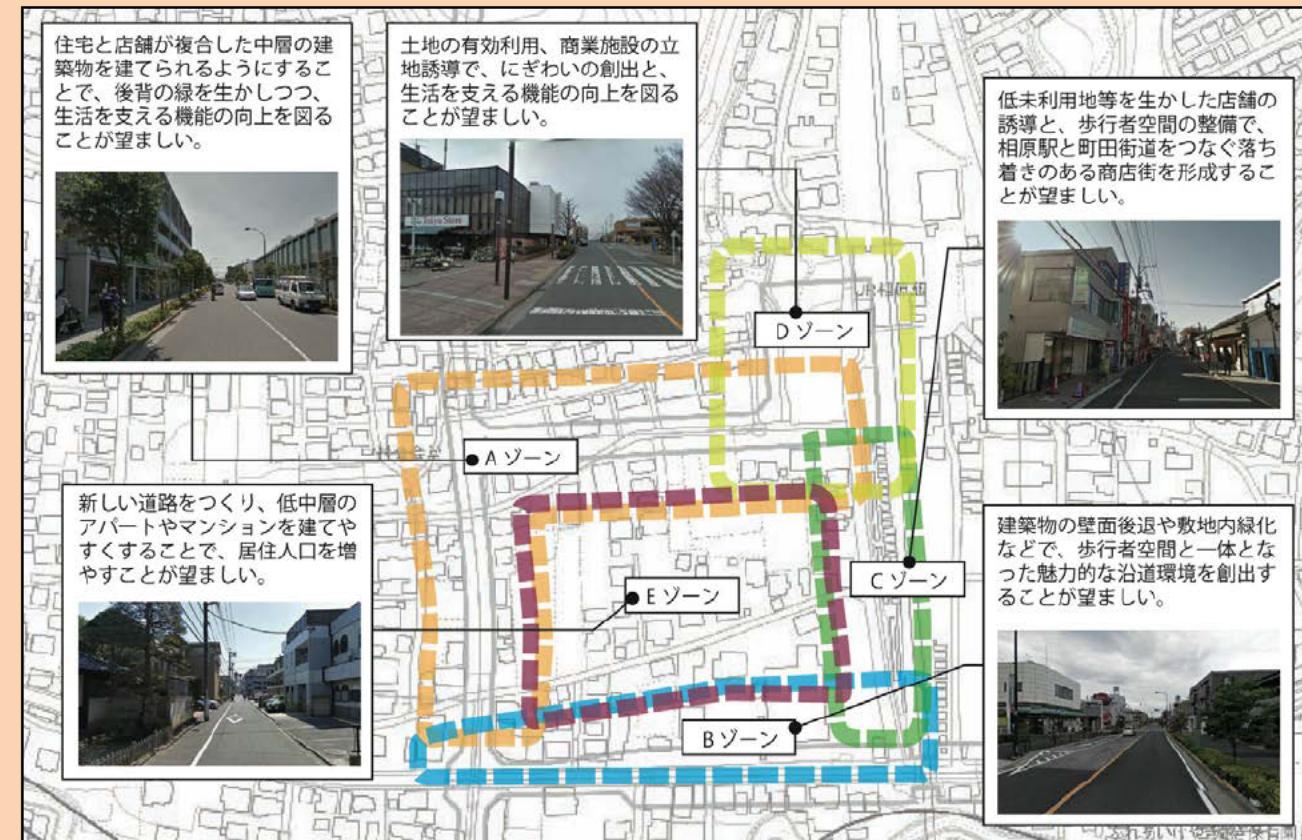
○検討会の目的

西口周辺は町田街道から相原駅へ通ずる都市計画道路や駅前広場の整備、町田街道立体交差事業などが進められており、街の骨格が大きく変化します。そのため、都市計画道路や駅前広場の整備に合わせて、街の将来像について話し合い、その結果を街づくりに反映させるために検討会を3回開催しました。

○西口における主な課題

- ・整備が進んでいる西口駅前から町田街道までの都市計画道路沿いの土地利用の見直し
- ・駅近くの土地を有効に活用するための、生活道路等の整備（町田街道と都市計画道路の間）
- ・駅前の賑わいや、日常の買い物など地域に暮らす人々の生活を支える「地域の生活の中心」としての役割実現

○相原駅西口の土地利用の方向性への提案



○検討会における提案に対する主な意見

[西口の土地利用について]

- ・市の都市計画道路沿道は商売ができる環境を整えておくべき。
- ・相原は商業的に発展しないと思う。身近な困ったことを解決してはどうか。
- ・相原の良さである緑が残るような計画にしてほしい。
- ・写真のイメージは相原に合わないのではないか。相原らしさがほしい。

[その他について]

- ・リーダーシップを発揮できる人を決めてはどうか。地権者だけではまとまらない。
- ・検討会に参加していない人の意見はどうなるのか。

○今後の予定

2014年度には、用途地域や地区計画の案を検討会として取りまとめます。その後、市で変更案を作成し、都市計画決定手続きを行います。